



広報

# いし

# 12

1995. No.294

©発行と編集／新地町役場・企画振興課(〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40 ☎024462111・FAX62623194)



『竜宮の使』がやってきた!!





# 美しい川を甦らそう

よみがえ

## 平成8年度農業集落排水事業が着工

下水道の普及率は、全国で五〇%を越え、国民にとっては、身近なものとなっています。これからの下水道の果たす役割は、生活環境の改善にとどまらず、地球環境や健全な水循環などが求められています。町では、二十七年まで全戸の下水道関連事業を完了することを目標に、平成八年度から農業集落排水事業に着工する予定です。

### 私たちが川を汚している

生活の中で「豊かさ」や「うるおい」を求める声が高まっています。水は命の源であるばかりでなく、私たちの生活に「うるおい」や「やすらぎ」を与えてくれる大切な資源の一つです。ところが今、その大切な資源が失いかけてきています。

別表1は、平成六年度に実施された、川の水質測定の結果です。それを見ると、BOD（基準値に宇多川の3mg/l以下を参考）、大腸菌群数（基準値に宇多川の500MPN/100ml以下を参考）共に、基準値を大きく上回っています。

別表1 公共用水域水質測定(平成6年度)

	BOD (mg/l)	大腸菌群数 (MPN/100ml)
埴川 JR踏切	3.2	24,000
三滝川 JR踏切	5.4	7,900
砂小田川 中島橋	2.4	54,000
濁川 田中橋	19.0	54,000
牛川 JR踏切	1.7	13,000
立田川 藤崎	7.6	13,000

**用語**

◇BOD 水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに必要な酸素の量のこと。河川などの水の汚れの指標として用いられ、数値が小さいほど、水がきれいなことを示します。

◇大腸菌群数 大腸菌は、し尿とともに排泄され、病原性汚染の間接的指標として用いられ、数値が小さいほど、病原性汚染率が少ないことを示します。

## 平成27年度目標

### 下水道関連事業全戸完了

昨年を実施した総合計画のアンケートで、「優先的な町づくりで望むものは」という問いに対して、「下水道事業」とする答えが過半数を達し、第一位の回答が得られました。私たちの生活向上に伴い、下水道は日常生活には不可欠な施設で、汚水の排除、トイレの水洗化というように、生活環境を快適にし、また、川の汚れを防ぐためにも重要な施設とされます。

下水道にはいくつかの種類があり、地域の特徴をよく考えた上でどれにするかが違ってきます。町では、「特定環境保全公共下水道」「農業集落排水事業」により各地区の

特徴に合わせて、より効率的に整備をしていきます。概算総事業費は、約百十八億円、平成二十七年の完了目標で、平成八年度から事業実施します。「特定環境保全公共下水道」とは農村地域で行われ、浄化されたきれいな水は自然界に返されます。「農業集落排水事業」とは、千人以下の農業集落単位で行われ、きれいに浄化された水は農業用水として還元されます。

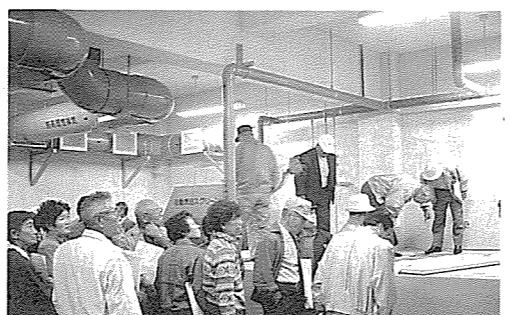
名称が違ってても、生活環境の改善を図り、し尿、生活雑排水などの汚水処理する施設には変わりありません。汚水は、道路下に埋設された下水管から処理場へ流れ、最終

### 一日も早い供用開始を望む



窪田松雄さん (沢口)

先進地の終末処理施設を見学しましたが、悪臭もなく、地域周辺に迷惑をかけないような効果的な施設であることが分かりました。一日も早く下水道が供用できるようにしてほしいと思います。



▲浪江町高瀬終末処理施設を視察する町民

的にはきれいな水にして放流されます。沈殿して残った汚泥は、肥料としての利用や埋め立てなどに利用されます。

### 福田地区 平成11年度 供用開始

平成八年度には、福田地区（鉄炮町、明地、中里、大山田、沢口）五百六十人を対象として、農業集落排水事業を着工します。工期は四、五年で、平成十一年度には供用を開始する予定です。

また、特定環境保全公共下水道は、第一期から第三期までの三回にわけて工事を進める方針で、第一期は、埴浜、

### 下水道が果たす役割

- ◇きれいな川がよみがえる
- ◇側溝のいやな匂いが消える
- ◇全戸が水洗化になる
- ◇浄化槽、トイレなどの個人的に管理する必要があるなど、多くの利点が上げられます。

### 合併処理浄化槽の設置を支援

町では、下水道処理区域外の方に、合併処理浄化槽の設置に補助金を交付しています。希望する方は、役場保健環境課（☎2111）に、申し込みください。

### 日常生活でできる排水対策

米のとぎ汁も桶木や畑の散水に利用しましょう	使いふるしのテンブラ油は、下水に流さず、古新聞紙などに吸い込ませてゴミとして出すようにしましょう	流しには、ろ紙袋をかぶせた三角コーナーなどをつけ、調理くずや食べ残しを流さないようにしましょう	洗剤、石けんなどはリンを含まないものを使用し、決められた量をはかって使いましょう
-----------------------	--	---	--

### ●合併処理浄化槽設置の補助金

人槽区分	限度額
5人槽	309,000円
6～7人槽	463,000円
8～10人槽	824,000円



# 在宅福祉社会

## 今日もホームヘルパーが動き出す

— 安心して暮らせる老後生活を支える —

「手足が不自由だから、家族には迷惑をかけてばかりで申し訳ないです。ヘルパーさんに手つだっていたら、家族に少しでも負担をかけたくないと思っています」  
ホームヘルプサービス事業を利用して、家庭を取材して、寝たきりで介護を受けている方から、このような声を聞くことができました。

介護する方に限らず、される方も、心の負担を感じていまます。お互いの負担を少しでも軽くする「こがが」ができるなら...



▲心のこもった料理を作る齋藤ヘルパー

### 町の高齢化率

21%

高齢社会と呼ばれる今日、町においてもまれではなく、平成七年町の高齢化率は二一・〇六%(十一月現在)で、県平均を四・一ポイント

### 心がかよう介護

水曜日、午前九時三十分。齋藤ヘルパーは、老人世帯のお宅へ昼食を作りに出掛けました。  
玄関を開け、大きな声で挨拶。台所に入ると、流し台に置いてある洗い物を片付け、冷蔵庫をのぞきながら、入っている材料で即メニューを考えます。齋藤ヘルパーは、事前に前回のメニューをチェックし、同じ料理を作らないように気を配ります。調理中、依頼者のAさんとの会話を弾ませながら手際よく調理します。野菜と魚介類を豊富に取り入れた今日のメニューは、焼き魚、煮物、かぼちゃのクリーム煮、なすのずんだあえ、キャベツの炒め煮、豚汁の六品です。Aさんは「週二回おいしい食事を作って頂いたり、



いろいろな話を聞いて頂いてありがとうございます」と話します。

### 利用者から

### 笑みがこぼれる

午後一時半、目黒ヘルパーは、老人一人暮らしBさんのお宅へ掃除に出掛けました。Bさんは、日常生活を送るには支障がありませんが、腰痛をわずらっているため掃除を頼んでいます。目黒ヘルパーは、各部屋の棚などのスズ払いや、掃除機かけなどを丹念

として金曜日。今日は齋藤ヘルパーと目黒ヘルパー二人揃って出掛けます。寝たきりのCさんを介護するためです。Cさんと介護しているお嫁さんが温かく出迎えてくれます。



▲丹念に掃除機をかける目黒ヘルパー

### サービスは登録制

現在、町のホームヘルパーは二人。月曜から金曜、八時三十分から五時十五分までフルにサービスを提供しています。また、ホームヘルパー、新地ホーム職員、保健婦、福祉係が『高齢者サービス調整チーム』を作り、在宅福祉に対する打ち合わせを毎月一

### 利用希望者は民生委員か町民課へ

現在、ホームヘルパーを利用している世帯は、回数にして週二回、一回あたり約二時間のサービスを受けています。しかし、利用者の声を聞くと、「もう少し回数を増やしてほしい」という切々な意見が多くありました。

町では、ホームヘルパーの増員に努めるため、一般の方のホームヘルパーの養成を支援し、充実した在宅福祉を目指しています。

**在宅介護 日用品の貸し出し**

社会福祉協議会では、在宅介護のための日用品の貸し出しも行っています。金額は一点につき、月額五百円です。

- ・ギャジベッド、マットレス (セット)
- ・エアーマット
- ・車椅子
- ・移動バー

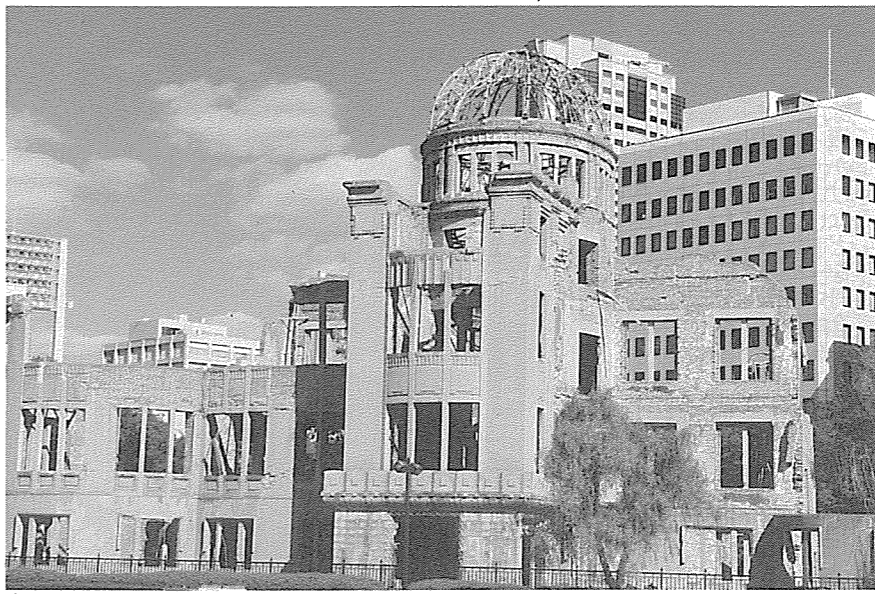
問い合わせ 社会福祉協議会 (☎224213)

が重要になってきます。町では、お年寄りが安心して老後の生活を送れるような施設や制度を設けています。その一つに、ホームヘルプサービス事業(ホームヘルパー制度)があります。この事業は社会福祉協議会で行っており、現在この制度を利用している世帯は、合計三十一世帯あります。

今回は、町のホームヘルパーとして実際に活躍している齋藤ゆき子ヘルパー、目黒廣子ヘルパーを追いながら、ホームヘルプサービス事業を紹介いたします。



# ふれあいと感動の旅・町民号



▲「証」をのこして…原爆の惨禍を後の世に伝え続ける原爆ドーム



▲祈りそして誓い…荒町長と寺島区長が原爆慰霊碑に献火

百二十四人の参加をいただき、第十一回新地町民号は十月二十五日から二十七日まで三日間にわたり、「広島・萩・津和野」のコースを巡ってきました。町民同士の親睦を深めながら、楽しく思い出深い旅となりました。今回は、参加者からの寄稿と写真で紹介いたします。

## 戦後50年・

### 原爆ドームに献花

日下俊雄さん(作田)

素晴らしい秋日和の中、今回初めて地区の友人達に加わり、第十一回新地町民号に参加しました。地区での「オヤマおろし」も終わった今、旅の思い出をしたためてみたいと思います。

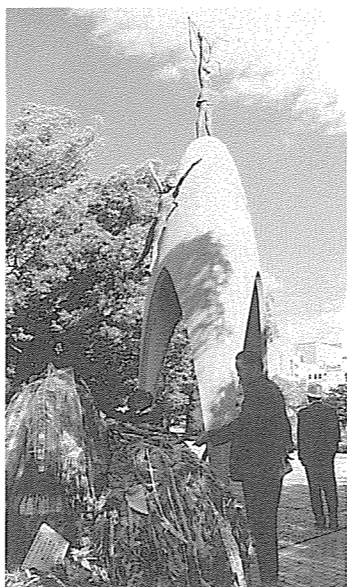
広島での悲惨を極めた原爆資料館の見学、原爆投下時などの様子についてのガイド嬢の説明を聞いた後、原爆ドーム前に私達百二十四名が整列し町長さん、区長会長さんが代表して献花いたしました。その夜町長さんから新地町議会が中国・フランスに対して核実験反対の決議、日本政府への激励などの話を聞き、戦

後五十年という節目の年に、新地町民号の一員として皆さんと共に多くの犠牲者のご冥福を祈ることができた事に熱い感動を覚えました。この夜ライトアップされた厳島神社は満潮に映えとても美しかったです。



▲日本三景の一つ宮島で平安時代に造営された厳島神社で参拝

津和野では城下町の掘割りや泳ぐ鯉の姿に圧倒され、またこの殿町の一角に門構えも堂々とした、かつての津和野藩校「養老館」、瓦葺きの武家屋敷門、そして土掘りなど誠に素晴らしい掘割りと調和し往時を忍ぶ事が出来ました。萩では毛利家菩提寺、東光寺の五百基に及ぶ石灯ろうの整然と静かな佇まいに、灯火時の幽玄の世界を感じ、また、吉田松陰先生の松下村塾では



▲原爆性白血病で12歳の短い生涯を終えた佐々木禎子ちゃんを死をいたみ千羽鶴がささげられる「原爆の子の像」を見つめる荒町長

忘れかけていた高杉晋作・水戸孝允、伊藤博文、山県有朋、久坂玄端などいずれも門下生で明治維新に活躍した人々であり、改めてこのような偉人を生んだ萩の地形(三方が山、一方が萩湾)や風土に深く興味を感じさせられました。

夜の部では参加者の皆さんの日ごろの練習(生涯学習)の成果が披露され、見事な唄や踊りに楽しいひとときを過ごすことができました。帰路は広大な秋芳洞の散策、そして源平合戦最後の戦場、壇之浦を見ながら関門橋をわ

たり、ガイド嬢の「耳無芳市」の話に耳を傾けながら福岡空港に伺いました。「また、せつせと働いて、次の町民号にまた参加すっべな」という友達の声聞きながら、新地町民としてのほのぼのとした幸せを感じさせられた楽しく思い出一杯の旅でした。

## 平和への祈り

### 永遠に

星トヨ子さん(富倉)

第十一回新地町民号は十月二十五日から二泊三日の行程で行われ、町長を団長に総勢一二四名の参加者は早朝、改善センター前よりバス三台に分乗し、仙台空港へと向かう到着後、搭乗手続きを済ませ



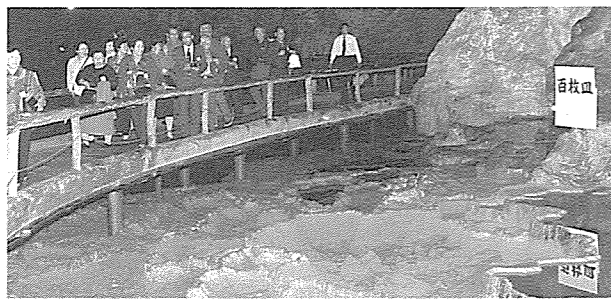
▲夜の懇親会は大いに盛り上がりました

期待を胸に機内へと進む、飛行機は定刻に離陸一路広島へ。飛ぶ事一時間半無事広島空港に着く。空港には三台のバスが私達を歓迎してくれました。わたしは三号車、ガイドさんの案内で平和公園に着く一番先に目にしたのが原爆ドーム。今は焼けただれた鉄筋を無惨に露出し当時の悲惨さを物語っておりました。原爆の子像には平和を祈る人々の捧げた千羽鶴が私達に強い印象を与えてくれた。平和の灯火も永久に燃え続けるとの事。また、原爆慰霊碑の前では、全員整列し荒町長、寺島区長会長が献花し永遠の平和と犠牲者の冥福を祈りました。植輪型の屋根の下には石棺が安置されており、また、石面に「安らかに眠ってください。過ちは繰り返しませんから」

最後に町長さんをはじめ企画振興課、添乗員の皆さんにお世話になった事を深く感謝致します。



▲今回の余興の部の主役はこの人(?)でした



▲大自然の摂理が造り上げた芸術品—秋芳洞 今に至るまで3億年の歳月が流れているという



▲萩で維新の志士たちを生んだ吉田松陰を祀る松陰神社を見学

▲錦鯉が泳ぐ津和野の殿町の掘割りを見歩く



# 町功労者表彰式

町の発展に寄与された方を表彰

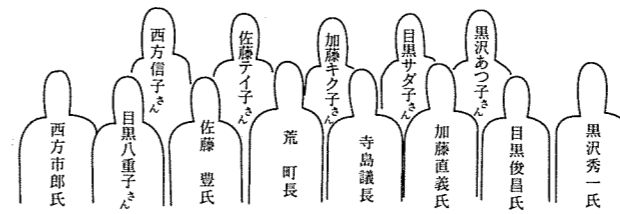
長年にわたり各分野で、町の発展に活躍された方々を表彰する、町功労者表彰式が十一月二日、農村環境改善センターで行われました。

式では、荒町長の式辞の後、自治功労、社会福祉功労、産業振興功労で六人を表彰、また、町に多額な金品を寄付さ

れた五団体、三十一人の方々に感謝状を贈りました。表彰者は次のとおりです。(敬称略)

## 自治功労

佐藤 豊(今泉)、加藤直義(新地町)、目黒俊昌(作田)、西方市郎(駒ヶ嶺町)



## 社会福祉功労

目黒八重子(小川)

## 産業振興功労

黒沢秀一(新地町)

## 町長感謝状

相馬共同火力発電(株)取締役社長 重光秀徳、町農業協同組合組合長理事 荒昭悦、佐藤裕一、(尙)小賀坂組代表取締役 小賀坂廣征、森幹市、菊地信子、西方市郎、丸三機械建設(株)相馬事業所、森真、横山信、竹沢正之、(株)ナガホリ取締役社長 長堀守弘、鈴木とみ子、黒沢敏郎、太田弘、佐藤紀一、齋藤洗且、加藤武彦、前澤タケ

## 町長・社会福祉協議会長連名感謝状

後藤桂一、伊藤輝雄、加藤徳、森定三、小野義範、荒力、菅野敏、横田仁、寺島俊夫、佐藤正、林良平、荒勝裕、佐藤昇、加藤哲治

## 町長・しんち福祉会理事長連名感謝状

岡田邦男、渡辺トキイ、鴛田清

# 民生児童委員が替わりました

十二月一日から、民生児童委員が替わりました。任期は三年です。これからよろしくお願ひします。

(担当地区)

- 渡辺淳子 沢口、鉄炮町、大
- 山田
- 荒 清三 明地、中里
- 目黒ミヨ 木崎
- 吉村義光 埴浜
- 目黒文子 作田
- 林 秀一 下真弓、上真弓
- 加藤仁一 岡
- 岡田千賀子 岡
- 目黒良雄 杉目
- 小野俊文 小川
- 小賀坂廣征 釣師
- 水品寛子 釣師
- 森 愛子 大戸浜
- 菅野新一 今泉
- 渡部 美 菅谷
- 三國チカ子 高田
- 寺島昭幸 城内、駒ヶ嶺町
- 渡部ヨシイ 上ノ町、新町
- 斎藤良子 汝民、藤崎
- 荒 麗子 今神
- 菊地勝雄 富倉、原相善
- 名取友雄 新地町
- 志茂尚子 中島
- 目黒慶子 小川

## 子供の未来をみつめて

## 教育委員が

## 相談を受けます

お子さんの教育問題、生活指導などについての、課題や悩みごとの相談を教育委員が受けます。いつでもお気軽に相談ください。

村山 哲子 (☎23488)  
目黒 寿恵 (☎23226)  
目黒美津英 (☎23271)

日下 俊雄 (☎2769)  
斎藤 崇淳 (☎4191)

## 気迫あふれる・ふくしま駅伝

# 15人が大奮闘

—応援団も熱こもる—



▲力いっぱい健闘した選手団



▲応援幕を広げて応援!!

県内八十八市町村が参加し、闘志を燃やして力走した、市町村対抗ふくしま駅伝が十一月十九日、白河市の白河総合運動公園陸上競技場をスタート、福島県庁前ゴールで行われました。町から、荒町長や体育協会会長、青年学級の皆さんなど約二十人が応援に駆けつけ、手作りの旗や、応援幕を大きく広げ、選手に熱い声援を送りました。

町民の熱い期待を受けた十五人の町選手団は、他市町村の強豪選手に立ち向かい、苦戦しながらも、選手それぞれが思いどおりの走りをして奮闘しました。結果は、昨年より五位浮上の六十六位、タイムは六時間十一分十五秒でした。中高生を主体としたチーム編成で、来年にも大きな期待が持たれます。選手の皆様、大変お疲れさまでした。

## 伊達開拓

# 『ふくまわ(ら)〜(り)』サミット 開催

—宮城県柴田町—

伊達開拓「ふるさと従兄弟(いとこ)サミット」が十一月七日、宮城県柴田町榎木文化センターで行われ、北海道伊達市、宮城県の柴田町・亘理町・山元町・そして新地町の五市町が参加しました。サミットは、伊達藩の支藩

による歴史的な絆をより確かなものにし、相互交流によって地域の文化・経済の振興を図ろうというもので、今回が五回目。五市町から約三百五十人、新地町からも関係者約三十人が参加しました。サミットでは、自治大臣官

特産販売展も
好評



▶大好評だった特産販売展

会場では、特産販売展も行われ、五市町から、ワイン、ジャム、柚子、味噌など多彩に展示されました。新地町からは、『しんちゃん納豆』『いちじくワインほほえみ』など展示し、売れ行きは上々、大好評でした。



# ふるさと産業・健康まつり

十一月十一日と十二日の二日間、「ふるさと産業まつり」が新地小学校、柔剣道場前広場で、「健康まつり」が農村環境改善センターで行われました。

産業まつりでは、縄跳び競争、尻相撲、餅つき大会などの恒例行事や、鮭釣り大会など沢山のイベントで会場は盛り上がりました。

健康まつりでは、日本人初の宇宙飛行士、秋山豊寛さんの講演も行われ、役員職員のペットボトルロケット愛好会が制作した五機のロケットを打ち上げて秋山さんを歓迎しました。講演では、「すばらしき宇宙旅行」と題しての宇宙体験談を話し、参加した二百五十人は、夢の中で宇宙旅行を楽しみました。



鮭釣り大会で大にぎわい



▲250人が出席した秋山さんの講演会



▲大笑いした尻相撲



▲健康測定で健康チェック



▲ペットボトルで秋山さんを歓迎

## 遊海しんち'95 写真コンテスト

町長賞



「ともだちと海」  
斎藤 誠さん(相馬市)

実行委員長賞



「MIND NIGHT FANTASY」  
奥村辰雄さん(亶理町)

## 健康ポスター

『町長賞』



荒 有香理さん  
(駒ヶ嶺小6年)



荒 麻奈美さん  
(福田小3年)



寺島 真智子さん  
(新地小6年)

この他の作品は、追って広報で紹介します。

## 保健だより

### 骨粗しょう症を防ごう

主任保健婦 畠山美雪

第七回健康まつりを十一月十一日と十二日に開催しましたが、皆さんは見に来られませんでしたか？

さて、最近「骨粗しょう症」というカルシウム不足によって骨がもろくなる病気が増えていることから、今回、健康まつりの「健康相談コーナー」に骨量を調べる検査を取り入れました。骨粗しょう症は特に女性に多いことから、対象者は二十歳～六十歳までの女性とし、原町保健所の協力を得て実施しました。検査は、超音波法による測定で、素足になり右足を測定装置の上に置くだけという手軽な方法です。検査時間は約五分。検査結果もその場ですぐわかります。

受診者は、二日間で七十二

(表1) 年齢別受診者数

年齢	受診者
20～29	9
30～39	19
40～49	15
50～60	29
計	72人

## 母と子の健康

健康審査等	対象者	日(曜)	受付時間	場所
母子手帳交付	妊娠とわかったらなるべく早く、母子健康手帳の交付を受けましょう	12/15(金) 1/5(金)	9時～10時	新地町役場
1歳6か月健康診	平成6年4月～5月生まれ	12/11(月)	13時～13時15分	新地町母子健康センター
三種混合(百日咳、ジフテリア、破傷風)	1期初回：生後6ヵ月～12ヵ月(3～8週の間隔をおいて3回接種) 1期追加：1期3回接種後1年～1年半後に1回接種(生後90ヵ月までなら受けられます)	12/28まで 月～土 (第2土曜は除く)	8時30分～12時 14時～17時30分	遠藤内科 医院での個別接種
1歳児相談	平成6年11月～12月生まれ	1/10(水)	9時45分～10時	新地町母子健康センター
ツベルクリン反応	生後9ヵ月～48ヵ月(4歳)未満	12/12(火)	12時30分～13時	新地町母子健康センター
B C G	ツベルクリン反応の結果陰性の方	12/14(木)		新地町母子健康センター

※ツベルクリン反応、BCG予防接種はH8年1月23、25日を予定していましたが、上記日程に変更になりましたのでお間違いない。



- ◇社会福祉協議会へ  
・故星スイさんのご遺志として  
星清さん(藤崎) 10万円
- ◇新地公民館へ  
・県野球協会  
ティポール一式5セット
- ◇特養新地ホームへ  
・寄付・慰問  
・早川キクエさん(新地町) 卵202個
- ・作田老人会婦人部  
・シート、バスタオル他多数  
・伊達サダさん(原) リンゴ1箱
- ・鹿島町民生児童委員会婦人部  
・清拭布 ダンボールに3箱 12人
- ◇ボランティア  
・特老ボランティア(福田・新地・駒ヶ嶺の女性の皆さん)
- ・相馬市東部公民館  
歌・踊り
- ・レマンの会  
・JAすずらん  
・新地高校家庭クラブ
- ・新地漁協婦人部  
・小川若妻会  
・町役場女子職員
- ・加藤光さん(下真弓) 5万円
- ・目黒七三江さん(相馬市) 油絵(80号) 30キロ
- ・新地グリーンファーム  
高橋良行さん  
トマト ダンボールに1箱
- ・鈴木文雄さん(菅谷) 米(コシヒカリ) 30キロ
- ・(株)オオタ  
太田伸雄さん(相馬市) 運動着25着

し、その減り具合をチェックしていくようになります。

30歳になったら定期的な骨量の測定を

生まれた時から成長を続けてきた骨が、成長をやめるのは十七歳～二十歳ごろ。その

後二十代では横ばい、三十歳を過ぎると早くも減り始め、特に女性は閉経期に急減します。その減り方には、個人差がありますが、三十歳以上になつたら、年に一回は骨密度を測って自分の骨の状態をチェックしましょう。





450人が参加した町防災訓練

町防災訓練が11月5日、公民館グランドで行われました。町消防団、第7行政区など約16団体450人が参加し、応急救護や障害物除去などの訓練を行いました。参加者は真剣に行い、防災意識を高めていました。



腕用ポンプで火の用心

火災予防運動週間に、腕用ポンプを新地町に展示し、火の用心を呼びかけました。このポンプは、昭和三十年時代まで埴浜地区で実際に活用していたもので、新地駅長の三宅信一さんが、長年自宅で保管していたものです。そして今回、三十年振りに一般公開され、めずらしいと町民にも大好評でした。三宅さんは、「これからも火災予防運動週間には展示したい」と話していました。

町ぐるみで火災予防運動

消防団に新しい作業衣を交付



老人一人暮らしふれあい防火診断

老人一人暮らしのふれあい防火診断が、11月13日と15日の2日間行われ、町女性消防団員10人が、41世帯を訪問しました。防火点検、身の安全的な困りごとなどの相談を受け、老人一人暮らしの方に大変喜ばれました。

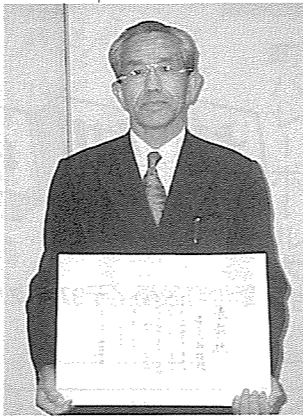


消防団作業衣の交付式が十一月二十日、役場町長室で行われ、荒場町長から、中江章消防団長へ作業着上下、帽子、ヘルメットが手渡されました。これは、消防団員の活性化事業として、町の全消防団員三百八人のために、作業着はオーダーで作られたもの。年頭の出初め式には、ニュースタイルが披露されます。



加藤勉さん納税貯蓄組合賞に

相双地区の納税貯蓄組合の表彰式が11月13日、相馬市で行われ、町から、加藤勉さんが、永年にわたる納税貯蓄組合長として、普及育成に功績されたことが認められ、相双地区納税貯蓄組合連合会賞で表彰されました。



寺島幹雄さん衛生組織連合会長賞に

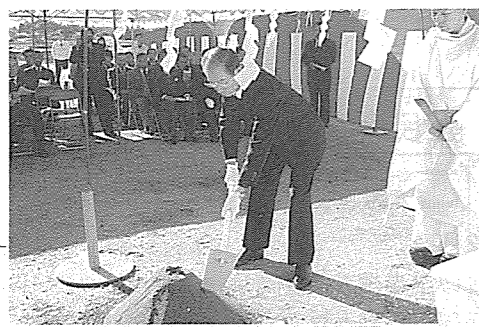
相馬地区総合衛生大会の受賞式が十一月十五日、相馬市で行われ、町から、寺島幹雄さんが、保健委員としての功績を認められ、相馬地区衛生組織連合会長賞で表彰されました。



相双空手道大会

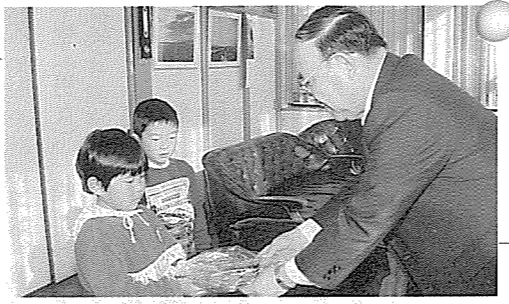
ぼくらは若き格闘者!

相双空手道大会が十一月五日、原町市で行われ、二百一十人の小学生が参加しました。町では、佐藤繁一コーチ率いる、県本部空手道正晃会が参加しました。結果は、型個人戦の部、二位に、布施振弥くん(福田小一年)、加藤鷹司くん(新地小四年)三位に、布施清人くん(福田小五年)組み手の部、三位に黒はばき佑也くん(新地小一年)が入賞しました。小学生十一人、高校生一人で構成されているこのチームは、いつも笑いあふれる明るいチームで、毎週二回、作田の道場で練習が行われています。



J A新地町水稲育苗施設起工式

J A新地町水稲育苗施設の起工式が11月21日、ライスセンター前広場の現地でされました。神事などがとり行われた後、荒昭悦J A新地町組合長代表理事が「ライスセンター、たい肥センター、水稲育苗施設との3施設が一体として、農業の規模拡大を目指した新しい農業に取り組んでいきたい」と挨拶。当施設は、来年2月の完成予定で、町の農業振興に期待が持たれます。



福田保育所児童来庁 手作りリリースをプレゼント

『毎日のお仕事ご苦労様』

福田保育所の子供たちを代表して、林修平くん、荒舞衣ちゃんが、11月22日、「勤労感謝の日」のプレゼントに、手作りリリースを持って役場を訪れ、職員に手渡しました。リリースは、児童が散歩で摘んできたススキや木の実などを材料とし、保育所の先生方が可愛らしく手作りしたもので、職員に喜ばれました。



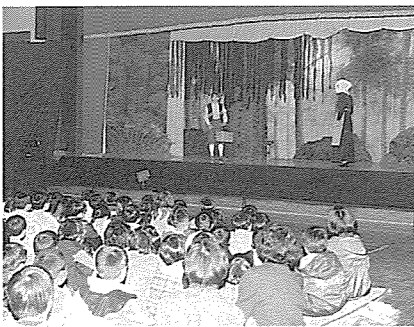
保育児と交流会

特養新地ホーム

特養新地ホーム・デイサービス利用者と保育児の交流会が、十一月十三日から十七日までの五日間行われました。活発な交流では、歌や体操、フォークダンスなどを楽しんだ後、プレゼントの交換が行われ、保育児からはメダルが、おじいさん、おばあさんの首に飾られました。

相馬市東部公民館 婦人学級生が訪問

相馬市、東部公民館婦人学級生二十五人の皆さんが、十一月十七日、特養新地ホームを訪問し、八木節や秋田大黒舞など歌と踊り十種目を披露しました。福祉関係の仕事希望している中村二中の生徒も参加するなど、有意義な交流を深めました。



新地小で 児童演劇鑑賞会

児童演劇講演が11月22日、新地小学校で行なわれ、3小学校児童、父兄約600人が鑑賞しました。芸術鑑賞は、児童の教育には必要であることから、今回は劇団芸優座による『グリムのハンスと大悪魔』という物語が上演されました。児童たちには大反響で、楽しいひとときを過ごしていました。



# お知らせ

新地町役場 / 〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40 TEL 0244(62)2111 FAX 0244(62)3194

## 歳末助け合い運動にご協力を



12月1日から「歳末助け合い運動」が行われます。この運動は、町内の寝たきり老人や一人暮らし老人、母子・父子世帯、長期療養や障害に悩む方々が明るいお正月を迎えられるよう、地域ぐるみで援助するものです。

今年も皆さんの温かいお志しをお願いします。お問い合わせ 社会福祉協議会 (☎ 4213)

## 公民館・勤労青少年ホーム

### こよみ 12.5～

- 12月
- 5(火) 手編み教室 (午後1時30分～ 勤労青少年ホーム)
  - 7(木) 手編み教室 (午後1時30分～ 駒ヶ嶺公民館)
  - 8(金) 墨絵教室 (午後1時30分～ 駒ヶ嶺公民館)
  - 12(火) 婦人学級 (午前9時～ 新地公民館)
  - 12(火) 生け花教室 (午後1時30分～ 勤労青少年ホーム)
  - 13(水) 生け花教室 (午後1時30分～ 新地公民館)
  - 13(水) 書道教室 (午後1時30分～ 駒ヶ嶺公民館)
  - 14(木) 着付け教室 (午後1時30分～ 駒ヶ嶺公民館)
  - 15(金) ことぶき大学 (午前10時～ 新地公民館)
  - 15(金) 料理教室 (午前9時30分～ 駒ヶ嶺公民館)
  - 15(金) 英会話教室 (午後7時30分～ 新地公民館)
  - 16(土) 3B体操 (午後7時30分～ 新地公民館)
  - 19(火) 手編み教室 (午後1時30分～ 勤労青少年ホーム)
  - 21(木) 手編み教室 (午後1時30分～ 駒ヶ嶺公民館)
  - 27(水) 生け花教室 (午後1時30分～ 駒ヶ嶺公民館)

## 町民親善卓球大会 参加者募集

町卓球クラブ主催による町民親善卓球大会を次の日程で

行います。奮ってご参加ください。

日時 12月23日(出) 午前8時30分  
場所 駒ヶ嶺公民館

- 種目
- ◇シングルス 小学生(男女)、中学生(男女)、一般・高校生(男女)
  - ◇ダブルス 中学生(男女)、一般・高校生(男女)
  - ◇混合ダブルス 中学生、一般、高校生
- 参加費 1種目 500円  
締め切り 12月16日(出)  
申し込み 12月16日(出)  
新地公民館 (☎ 2085) 八巻京子 (☎ 4245)

## 工業統計調査にご協力を

12月31日現在で、平成7年工業統計調査を行います。この調査は、製造業を営む事業所の一年間の製造活動を調査し、我が国、工業の実態を明らかにするために毎年全国一斉に行われている大切な統計調査です。

今年、全ての製造事業所が対象となります。年末で多忙中とは存じますが、12月下旬に次の調査員が伺いますのでご協力をよろしくお願いいたします。  
調査員 小野 二郎さん(小川) 荒 健二郎さん(埴浜)

- 15日 公共投資に関する国会議員との懇談会
- 13日 相馬丸入港歓迎式・就航記念祝賀会
- 11日 健康まつり・産業まつり
- 7日 伊達サミット
- 5日 町防災訓練
- 2日 町功労者表彰式
- 11月 町民号(27日まで)
- 19日 全国市町村長中央研修会
- 17日 北海道伊達市職員姉妹都市派遣研修歓迎会
- 16日 町農村総合整備促進協議会
- 15日 政策調整会議
- 10日 消防秋季演習
- 10日 県道相馬巨理線打ち合せ定例会

## 町長日記 荒 和英

## 町バレーボール大会 参加者募集

町体育協会が主催による町バレーボール大会を次の日程で行います。奮ってご参加ください。

日時 12月17日(日) 午前8時30分開会  
場所 尚英中学校体育館  
チーム構成 新地小学校体育館  
行政区単位一チーム16人の男女混成

申し込み 新地公民館 (☎ 2085)

## 成分献血にご協力ください

成分献血にご協力をお願いします。日時 12月19日(火)

## 記念緑地公園の白キジを守ろう

今年の春、相馬地域開発記念緑地公園で、白キジが生まれました。地域の皆さんで可愛がっています。

ハンターの皆さんは、どうか撃たないようにご協力をお願いします。

## 『エイズ』の知識を深める 講演会が開催

一九八一年にアメリカで初めて症例が報告されましたがその後、患者、感染者は増加の一途をたどり、世界では一、一七七万人が報告されています。

す。日本のエイズ患者は一、〇二六人、HIV感染者は三、四二三人です。

『エイズ』という病気を知り、どう共生していくかを考えるために、次の日程で講演会が行われます。この機会にぜひご参加ください。

日時 平成8年1月13日(出) 午前9時30分  
場所 原町市福祉会館  
講師 木島知草  
演題 『エイズの教えてくれるもの』

## 年金の請求は 事前に相談を

厚生年金を支給される期間が一年以上ある方は、60歳から特別支給の老齢厚生年金が支給され、一年未満でも65歳

から老齢基礎年金に上乗せして支給されます。年金の請求先は社会保険事務所になりますが、厚生年金手帳を粉末しかり、厚生年金期間がわずかなないような場合は、つい忘れがちです。職歴を整理して社会保険所で厚生年金期間の有無を確認してください。

社会保険事務所には、社会保険庁のコンピュータと直結する端末装置が設置されており、国民年金、厚生年金、船員保険の期間が分かるようになっていきますので、事前に自分の年金のことを相談しましょう。相談を受ける方は、職歴メモ、年金手帳、印鑑を持参ください。

年金手帳は一人に一冊で、記載されている記号番号は一生を通じて変わらないものですから大切に保管ください。

年末年始の交通事故防止 県民総ぐるみ運動 12月10日～17日

『一杯だけ 心の軽さが 重い事故』

例年この時期は、帰省や初詣で、行楽などによる交通の混雑、飲酒機会の増加、早い日没や積雪、凍結など交通環境が悪化し、交通事故が多発する傾向にあります。交通ルールとマナーを守り、ゆとりを持って安全運転を心掛けてください。

## エネルギーの新しい火が 燃える町 しんち



面積46.40km<sup>2</sup> 東西9.5km 南北7.4km

町の木/マツ 町の花/サクラ  
町の鳥/キジ 町の魚/カレイ

## 戸籍の窓

▷町の人口と世帯 11月1日現在 ( )内は前月比

人口	9,109人	(-5)
男	4,473人	(-3)
女	4,636人	(-2)
世帯数	2,328世帯	(+1)

10/21～11/20届出

▷出生 (届出は14日以内に) おめでとうございます。

(子供)	(親)	(地区)
優彩 眞由	安彦 孝慎	民谷 菅木
太由 子	鈴木 荒	

▷死亡 (届出は7日以内に) おくやみ申し上げます。

(死亡者)	(年齢)	(地区)
戸田 東子	63歳	民谷 真弓
加藤 藤ナツ	84歳	下真弓 内
寺島 留喜	86歳	新地町 小川
鈴木 千之助	86歳	新地町 小川
佐藤 清子	60歳	大戸浜 新地町
坪井 智子	43歳	大戸浜 新地町
水戸 栄一	83歳	大戸浜 新地町
吉田 トシコ	92歳	大戸浜 新地町

※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。

## 【今月の納税】

固定資産税	第4期
国民健康保険税	第5期
国民年金	12月分

## 【水道修理事業業者】

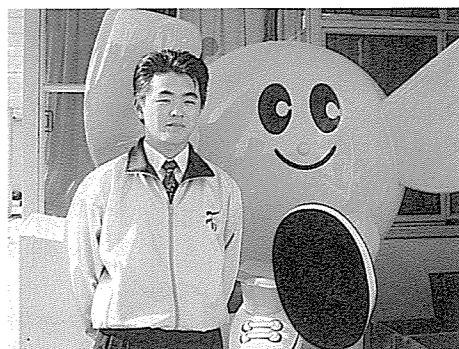
12月10日～16日	岡元設備工業	☎2483
17日～23日	(有)桜井設備工業	☎4778
24日～29日	(有)加藤設備工業	☎3454
30日	(有)加藤設備工業	☎3454
31日	(有)サンリット工業	☎2346
1月 1日	(名)菊地建材店	☎6181
2日	佐藤水道設備	☎3492
3日	山内工業(株)	☎2826
4日	花塚熱学工業(有)	☎2334
5日	(株)トーヨー建設	☎5151
6日	岡元設備工業	☎2483



# みんなのひろば



## 頑張るマン ♠40



### スポーツ指導者として貢献したい

— 寺島一宏さん (19歳・大戸浜) —

一宏さんは、相馬市役所で国体課の実行委員として働いています。ふくしま国体では、グランド準備にたずさわり、大変忙しい毎日でした。また自らも、ソフトボール選手として、県代表でふくしま国体に出場しました。結果は、一回戦で敗れたものの、貴重な体験でした。小学生から高校生まで野球を続けていきましたが、昨年四月に「福島ソフトボールクラブ」に入会したのがソフトボールとの出会いでした。ポジションはショート。国体前は、週に四回ほど福島市まで通いながら練習をしましたが、今の時期はシーズンオフなので、昨年からはじめてスキーを楽しみたいそうです。最後に一宏さんの将来の夢を聞いたところ、「スポーツ指導者として、地元で貢献したい」と話してくれました。

## 町の支店 野ぶどう会

盆萵蔕の蘭草の香りも部屋に満ち  
茄子で作りし馬子供えつ  
幼子を亡くしたらしき若き母  
賽の河原に小石積みをり  
喘息の同じ痛みを分かちつつ  
点滴うける夏の日盛  
祖父祖母の生れし地見たしと岩手より  
訪ねきし友墓前に涙す  
実家では初孫顔見祝酒  
花嫁は初子の顔見せ故郷へ

高崎 よし子  
小山田 っや  
荒 洋子  
村山 けい  
阿部 進

## さやかしん



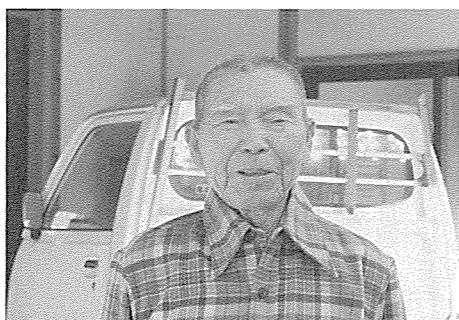
さくらい あきこ  
櫻井 亜紀子 さん  
(昭和49年7月1日生まれ 作田)

皆に親しまれる銀行員を目指して

今年の四月から東邦銀行相馬支店で働き、普通預金の事務に追われる毎日です。「窓口業務を早覚えたい」と話す亜紀子さんにインタビューをしました。

- ◇趣味は何ですか。  
☆旅行が好きです。それから、今シーズンからスキーを始めます。
- ◇休日は何をしていますか。  
☆映画が好きなので、友達とよく見に行きます。この前は、「マリリンゴンの橋」を見て感動しましたよ。
- ◇これから始めてみたいことはありますか。  
☆お茶などを始めたいですね。
- ◇将来の夢は。  
☆いろいろな資格を取りたいことと、幸せな結婚をしたいと思います。
- ◇町に望むことは。  
☆夜景が見える所に、観光名所を作ってほしいです。そして、おいしい料理屋さんが出来たらいいですね。

## おじいさん おばあさん



### 自転車に乗って今日もハツラツ

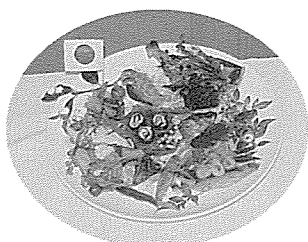
— 石田 正さん (85歳・高田) —

ここ数年、風邪もひかず、目も耳も達者という正さんは、明治四十三年生まれの八十五歳。「家の中にじっとしているのが嫌いだね」と話し、趣味は、旅行と写真です。自然豊かな土地に行つては風景写真を写し、思いでのページを増やします。最近では遠くへ出掛けることが少なくなりませんが、電動式自転車に乗り、相馬まで出掛け、友達と会つ

たり、買い物を楽しみます。「人に頼らず、自分のことは自分で」と、食べたい物は自分で料理をするなど几帳面で、年齢を感じさせないほどお元気です。また、三世代の八人家族で、二人のひ孫さんにも囲まれ幸せです。

## フィッシュフラワー

町長賞 西谷あや子さん (釣師作)



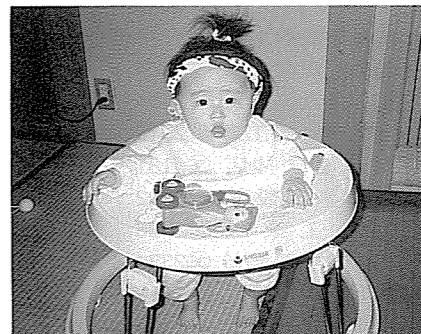
### 材料

・カレイ

### 作り方

- ①カレイを3枚、5枚におろし、姿を作り、その上に焼く、あげる、練る、等の調理法を駆使して残す事なくすべて食べられるようにする。

## わが家のアイドル



小野仁子ちゃん (10カ月・下真宮)

おふろが大好きな仁子ちゃん。近ごろは、人見知りをしなくなり、みんなに可愛がられています。「健康でじょうぶに育つてほしいです」とママのゆかりさんからのメッセージ。





# しんちの語り部たち④

ここに掲載される物語りは、お年寄りの幼いころの体験談、ラジオもなかった時代に父母や祖母から聞いた話などを集めたものです。

昔の人々が折りに触れ、ことに触れ、話題にのぼった事柄から、新地の地域性をいくらかでも感じていただければと思います。

## お羽山さまの話 (2)



▲お羽山様の御神体といわれている(真弓)

語り部  
荒 保治氏

(福田・明治二十六年八月二十七日生まれ)

昭和四十九年十二月

二十四日逝去)

昭和四十六年十月十七日談

お羽山さまの講中は、真弓の人たちである。まもなく御神体が盗まれたことが分り、大騒ぎになった。

手分けして探したが見つからず、一同途方に暮れてしまった。

ところがある夜、下真弓の市川庄七さんの夢枕に羽山さまが現れた。

「今、我れは東の浜辺の小

た。

その庄七さん、大変な夢を見たのでこれは間違いない。羽山様が俺に助けを求めてきたのだと考え、夜が白むのを待つて日頃仲の良い加藤茂七さんを訪ねた。すると茂七さんもわらじをはいて今にも出掛けようとしていた。なんと茂七さんも同じ夢を見て、庄七さんの所へ行こうとしてたのであった。そこで二人は、これはきつと正夢に違いない。これから早速探しに行こうと話をしていた処に、丸田儀平さんが息せききつてやって来た。驚いたことに、儀平さんも同じ夢を見て駆けつけたというのである。

三人は支度を整いて夢のお告げの場所に行くと、やはり大きな石があり、それをどかして掘ってみると、羽山さまの御神体が現れた。浜の人たちに見つかつたら大変なことになる。茂七さんは馬を連れてきていたので、御神体を背負い馬に乗って人足早く真弓に向かった。ところが真弓に近づくと、馬は勝手に向山のお伊勢さまに登っていつて止まった。

三人は、相談した結果これは羽山さまの思召しによるもののだとして、そのままお伊勢さまのお宮に安置することにした。

ところがこれを知った上真弓の講中は納得しない。そもそも羽山さまは五社壇の頂上にあつたものであり、盗まれたものを取り戻したといつて、別の所に祀るのは承諾できないとなつて、感情的になつた。そこで、老話役の林家が中に入り盗難の恐れもあることを考えしばらく林家に安置することになった。

## お羽山さまを古館に安置

このことから下真弓の人たちは、五社壇の東の方向に当たる古館の南斜面にお羽山さまを祀り、新しく講中を作つた。これで羽山さまの盗難にまつわる一件は落着いた。

その後昭和四十年代になつてお羽山さまのご託宣があり水神さまに合祀、昭和四十三年に遷宮祭を行った。なお、お羽山さまの御神体はナンブタゴン(黄金)であつたといわれているが、この話は次でしょう。

「しんちの語り部」たちは、目黒美津英教育長の「聞き書きノート」を基に広報担当が編集したものです。

## 表紙に寄せて



十一月十一日の夕方、体長約四・七メートルの細長い怪魚が埴浜は海岸にたどりついたので、門馬守・ユトさん夫妻(埴浜)が発見。同地区の中江伊八さんが調べたところ、『竜宮の使い』といい、アカマンボウ科の珍しい深海魚だと分かりました。多くの町民が聞き付け集まって来ましたが発見後間もなく生き途絶え、門馬さんらによって手厚く砂浜に葬られました。

## こちら

### 編集室



先日、夕暮れ時に天を仰ぐと、雪虫がたくさん舞っていました。冬の訪れと同時に、九十五年が去り行くころといひます。残りわずかでも、気を引き締めてしっかりしくては、と自分に言い聞かせています。

「終わりよければすべてよし」(??)と心に思つて。(M)